

2013年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

～ 旺盛な訪日・アジア↔北米間接続需要に対応し、アジア路線の供給量を拡大～

ANAグループは、2013年度下期の国際・国内線航空輸送事業計画の一部を変更致しました。

ANAグループは、今年度の羽田空港国内線発着枠の増加と2014年度に迎える首都圏空港発着枠拡大を最大活用し、既存の日系エアラインのみならずアジア・欧米・中東の大手エアラインに加え、事業規模を拡大するLCCとの厳しい競争環境の中で勝ち残るエアラインとなるため、フルサービスキャリアとしてサービスの充実・強化はもとより、更なるネットワーク拡充による競争力強化を図っていきます。

国際線事業においては、2014年度に迎える羽田空港国際線2次増枠に向けた基盤作りを実施していくと共に、北米路線の増便によるネットワーク強化にあわせて、アジア路線の供給量を拡大し、訪日需要とアジア↔北米間の接続需要に重点を置いたネットワークキャリアとしてのビジネスモデルの強化を推し進めていきます。

また国内線事業においては、引き続き路線計画・運航機種の最適化を推進し、更にお客様の利便性を向上できるよう国内線ネットワークの充実を図っていきます。

国内線、国際線の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです※1。

※1 これらの計画は関係当局の認可を前提としております。また、スケジュールは予定であり、都合により変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

1. 国際線

2012年度のシアトル線開設、ニューヨーク線増便、サンノゼ線開設、そして2013年9月1日からのシカゴ線増便により、北米路線のネットワーク強化を図っておりますが、訪日需要と成田空港をハブとしたアジア=北米間の接続需要に対して更に対応する為、2013年下期からアジア路線を中心に投入機材を大型化し、供給量を拡大いたします。

(1) 機種変更

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田=成都	2013年10月1日	B737-700	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	※2
成田=シンガポール	2013年10月1日	B767-300ER	14往復/週	B767-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週	※3
成田=バンコク	2013年10月27日	B767-300ER	14往復/週	B767-300ER B777-200ER	7往復/週 7往復/週	※4

※2 ANA NEWS 第13-072号(2013年7月24日付)にて発表済み。

※3 ANA NEWS 第13-064号(2013年7月4日付)にて発表済み。10月27日より全便にボーイング787-8投入。

※4 NH915/NH916にボーイング777-200ERを投入予定(バンコク発は10月28日より機種変更)。

路線	実施時期	現行		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田=上海(浦東)	2013年10月27日	B777-200ER B767-300ER B777-300ER	7往復/週 7往復/週 7往復/週	B787-8 B767-300ER B777-300ER	7往復/週 7往復/週 7往復/週	※5
関西=青島	2013年10月27日	B737-700	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
関西=北京	2013年10月27日	B737-700	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
羽田=シンガポール	2013年10月27日	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
羽田=ソウル(金浦)	2013年10月27日	B777-200ER	21往復/週	B767-300ER B777-200ER	14往復/週 7往復/週	※6
成田=ジャカルタ	2014年2月1日	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
成田=北京	2014年2月1日	B787-8 B767-300ER	7往復/週 7往復/週	B767-300ER	14往復/週	

※5 NH919/NH920にボーイング787-8を投入予定。

2013年9月30日からNH921/NH922にボーイング777-300ERを投入予定(上海発は10月1日より機種変更)。

※6 NH1161/NH1162、NH1165/NH1166にボーイング767-300ERを投入予定。

※当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

(2)期間運休・期間減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
中部=上海(浦東)	2013年10月27日	7往復/週	—	※7
成田=成都	2013年10月27日	7往復/週	4往復/週	※8

※7 ウィンターダイヤ期間(2013年10月27日～2014年3月29日)運休。

※8 ウィンターダイヤ期間(2013年10月27日～2014年3月29日)は4往復/週に減便。成田発:月・火・木・土曜日運航、成都発:火・水・金・日曜日運航[ANA NEWS 第13-072号(2013年7月24日付)にて発表済み]。

(3)プロダクト・サービスの導入について

～ ボーイング787型機長距離国際線機材にプレミアムエコノミーサービスを導入～

長距離国際線(欧米路線)にて運航しているボーイング777-300ERで、大変好評を頂いているプレミアムエコノミーのシートプロダクト・サービスを、順次ボーイング787型機※9に導入していきます。

2013年9月1日より、羽田=フランクフルト線においてプレミアムエコノミーサービスを開始いたします。また、通常の運賃に加えて、10月1日からはプレミアムエコノミーをお得にご利用いただける運賃を、8月22日(木)から期間限定で発売開始いたします(ご予約・ご購入は最初の国際線搭乗日の21日前まで)。

＜販売期間＞2013年8月22日(木)～2013年12月23日(月)

＜設定期間＞2013年10月1日(火)～2014年1月13日(月) 日本出発分

ANAは「Inspiration of Japan」のブランドコンセプトのもと、ANAブランドをますます魅力あるものへと発展させ、上質なサービスを世界中のお客様にお届けいたします。

※9 座席仕様:ビジネスクラス 46席、プレミアムエコノミークラス 21席、エコノミークラス 102席(合計 169席)



2. 国内線

国内線ネットワークの拡充を図りながら、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

また、長年ANAグループの主力機種として、幹線路線を中心に活躍したボーイング747-400型機は、2013年度末に全機退役を予定しております。

再開路線の運賃については、別紙をご確認ください。

(1)再開・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田=広島	2013年10月27日	8往復/日	9往復/日	
羽田=徳島	2013年10月27日	4往復/日	5往復/日	
羽田=札幌	2013年10月27日～ 2014年1月31日	18往復/日	19往復/日	期間増便
札幌=紋別	2013年10月27日～ 2014年1月31日	—	1往復/日	再開
伊丹=福岡	2013年10月27日	9往復/日	10往復/日	※10
伊丹=秋田	2013年10月27日	2往復/日	3往復/日	
仙台=札幌	2013年10月27日	4往復/日	5往復/日	※10

※10 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、ANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

(2)減便・期間運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田=函館	2013年10月27日	3往復/日	2往復/日	
羽田=釧路	2013年10月27日	2往復/日	1往復/日	
羽田=紋別	2013年10月27日～ 2014年1月31日	1往復/日	—	期間運休 ※11
伊丹=沖縄	2013年10月27日	3往復/日	2往復/日	※12
伊丹=仙台	2013年10月27日	9往復/日	8往復/日	

※11 2014年2月1日から運航再開いたします。期間運休中は、札幌=紋別線を再開し、羽田～札幌～紋別間に乗り継ぎでのご利用が可能になります。

※12 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、ANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

3. 貨物専用便

7月より開始している日本貨物航空(株)からのチャーター機材活用による機材稼働効率向上を、下期以降も引き続き実施し、収益基盤を強化します。また、2013年度末には、10機目となるボーイング767-300F貨物専用機を受領し、貨物事業の事業拡大を目指します。

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田=広州	2013年10月27日～ 2014年3月3日	—	B6F(3往復/週)	※13
沖縄=青島	2013年10月27日	—	B6F(6片道/週)	

※13 2014年2月5日～3月3日は2往復/週運航

以上